

# KUREHA

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
利益配当金支払 株主確定日	3月31日
中間配当金を支払う 場合の株主確定日	9月30日
公告掲載新聞名	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先 電話お問い合せ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)3642-4004(大代表)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほアセット信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

### 決算公告のホームページのご案内

なお、当社の決算公告は、当期より貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ( <http://www.kureha.co.jp> )に掲載することいたしましたので、こちらでもご覧いただけます。

# 第89期事業報告書

平成13年4月1日から平成14年3月31日まで

## 株主の皆様へ



取締役社長

天野 宏

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに「第89期事業報告書」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、IT分野の急速な景気の悪化に端を発した素材産業の低迷に加え、デフレに対する歯止めや不良債権問題の解消など過年度からの日本経済の構造的な問題に対する抜本的な解決策が見出されず、景気回復の道筋が見えないままに推移いたしました。

化学工業におきましては、下半期に入り米国経済の回復によるアジア経済の復調、原料ナフサ価格の下落、円安の定着などによる事業環境の好転材料はありましたが、電子材料をはじめとする需要の減退および個人消費の低迷による一般消費財のデフレ圧力により、市況は引き続き弱含みで推移し、依然厳しい状況にありました。

当社はこのような状況のもとで、高機能材料、医薬・農薬および樹脂加工品等の高付加価値事業分

野における利益の拡大と基礎化学品事業での採算改善による利益向上等、事業の選択と集中により、景気変動の影響を受けにくい事業構造への拡充をより一層推進いたしました。

この結果、当期の売上高は840億2千6百万円となり、前期比2.2%の減収ではありますが、営業利益は前期比16.6%増の47億9千7百万円、経常利益は前期比16.0%増の43億1千6百万円となり、前年度に引き続き増益となりました。

なお、当期利益については、特別損失として保有株式の評価損およびグループ経営強化のための不採算事業撤退に伴う連結子会社の清算損失を含み、併せて27億7千8百万円を計上し、一方、特別利益として保有株式の売却益の計上を行いその一部を補填した結果、14億5千6百万円となりました。なお、当期は中間配当につきましては見送らせていただいておりますが、期末配当金として前期と同じ1株につき6円とさせていただきます。

今後のわが国の経済見通しにつきましては、景気は底入れ局面に入りつつあるものの設備投資・個人消費は低迷が続き、デフレや産業空洞化の加

速、不良債権処理問題もあり本格的な回復にはまだ時間を要するものと思われれます。

化学工業におきましても需要が低迷する中、過剰設備問題を抱え企業存続を賭けた選択と集中の更なる加速が見込まれます。

このような状況のもとで、当社は昨年度(平成13年度)を初年度とする3か年中期経営計画(「大胆な変革を目指して」略称「中計DC」)の達成を目標に事業運営にあたります。平成14年度の重点施策として スピードとコストを意識した研究開発の推進、ERP(基幹業務統合パッケージ)の定着と活用、連結経営の強化、国内製造コスト競争力の一層の強化、環境・安全への積極的な対応を掲げ、これらの着実な遂行を通じて社会的に評価される呉羽グループを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年6月

取締役社長 天野 宏

# 営業の概況

## 機能製品部門

PPS樹脂、ふっ化ビニリデン樹脂は、半導体等電子材料用途の需要の減退に対し、その他の工業用素材用途の拡販を行った結果、前年度並みの売上げを維持いたしました。

炭素製品は、炭素繊維が光ファイバー、大口径シリコンウエファアの生産設備用途の前年度からの受注残に支えられ売上げが増加したほか、球状活性炭の輸出が好調で、売上げ、営業利益ともに前年度に比べ大幅に増加

いたしました。

一方、MBS系耐衝撃強化剤、塩化ビニリデンラテックスは需要の低迷により、また光学材料関係の「プラスチック眼鏡レンズ」は採算悪化に伴い事業撤退を行ったため、売上げは減少いたしました。

この結果、機能製品部門の売上高は175億2千1百万円となり、前期に比べ5億2千8百万円(3.1%)の増収となり、営業利益も前期に比べ5億2千7百万円増加いたしました。

## 化学製品部門

塩化ビニル樹脂は、市況の悪化により販売数量、販売価格ともに非常に厳しい状況になりましたが、原料モノマー価格の引き下げにより採算悪化を回避いたしました。

か性ソーダ、塩化物等の工業薬品分野は、採算を重視した販売を行いました。市況の低迷により売上げ、営業利益ともに前年を下回りました。

付加価値の高い商品群である医薬分野では、慢性腎不全用剤「クレメジン」は前年に引き続き売上げが好調に推移し、売上げ、営業利益ともに大幅に増加いたしました。

また農薬分野では、農業用殺菌剤「メトコナゾール」は欧州における販売の不振で売上げは減少したものの、イモチ病用農薬「ラブサイド」は積極的な海外展開を図ることにより売上げが増加し、全体では前期並みの採算を維持いたしました。

この結果、化学製品部門の売上高は282億5千9百万円となり、前期に比べ7億2千4百万円(2.5%)の減収となりましたが、営業利益は前期に比べ3億3千万円増加いたしました。

## 樹脂製品部門

国内においては、業務用食品包装材分野では、BSE(牛海綿状脳症、いわゆる狂牛病)等による食肉業界の不振により塩化ビニリデンフィルム、熱収縮多層フィルム、非収縮多層フィルム等の業務用フィルムの売上げは減少いたしました。多層ボトルの売上げは横ばいに推移いたしました。

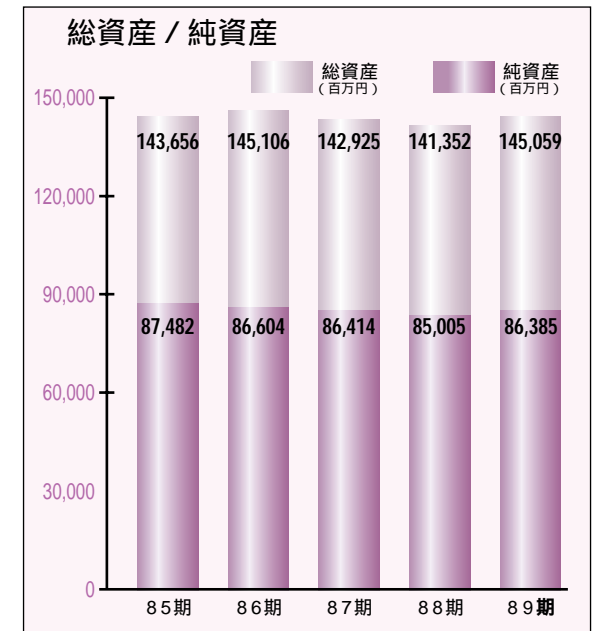
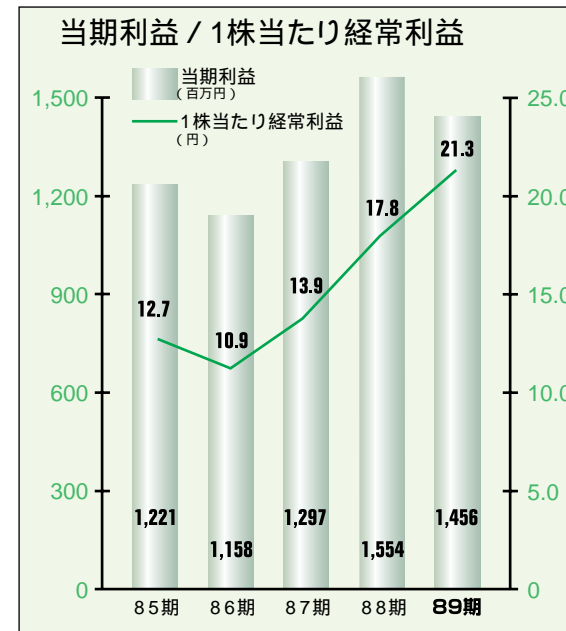
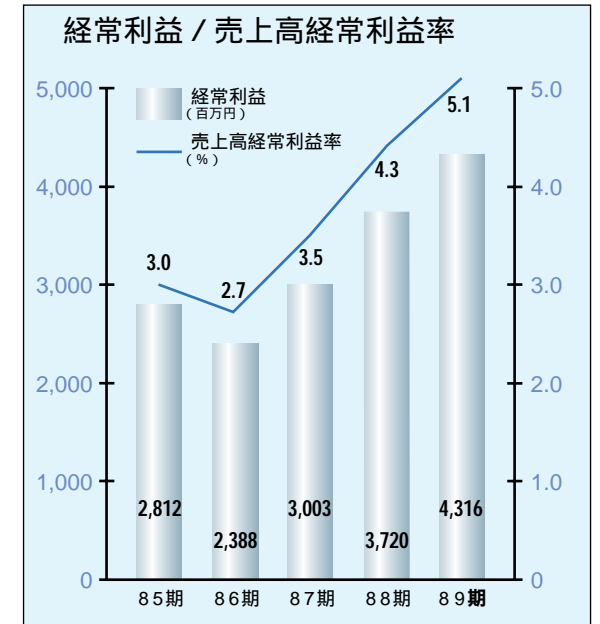
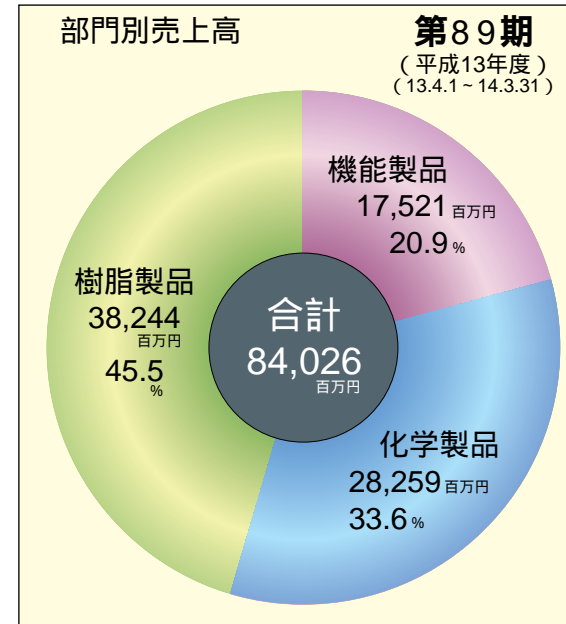
新規開発製品「ベセーラ(ハイバリアーラミネート基材)」の売上げは、引き続き好調に推移いたしました。

コンシューマー・グッズ分野では依然デフレ圧力が強く、家庭用食品包装材「NEWクレラップ」の販売数量は

若干増加したものの価格の低下により売上げは減少し、釣糸「シーガー」は、市場の低迷により販売数量、販売価格ともに減少いたしました。

輸出については、塩化ビニリデンフィルムおよびコンパウンドの中国市場での競争激化により販売価格が大幅に引き下げられ、売上げ、営業利益ともに大幅に減少いたしました。

この結果、樹脂製品部門の売上高は382億4千4百万円となり、前期に比べ17億2千8百万円(4.3%)の減収となり、営業利益も前期に比べ1億7千5百万円減少いたしました。



## 貸借対照表 (平成14年3月31日現在)

資産の部				
		科目	金額(百万円)	
流動資産	現金	預金	4,355	
	受取	手形	1,590	
	売掛	金	25,999	
	製	品	9,478	
	仕掛	品	328	
	原	料	1,773	
	貯蔵	品	714	
	短期	貸付金	5,511	
	繰延	税金資産	677	
	その他の	流動資産	1,539	
貸倒	引当金	48		
流動	資産計	51,921		
固定資産	有形固定資産			
	建	物	9,455	
	構	築	6,266	
	機	械	17,175	
	車	輛	137	
	工	具	1,517	
	土	地	7,743	
	建	設	2,030	
	有	形	44,327	
	無形固定資産			
	ソ	フト	258	
	ソ	フト	1,817	
	そ	の	174	
	無	形	2,250	
	投資等			
	投	資	31,475	
	子	会	6,399	
子	会	7		
長	期	7,024		
長	期	126		
そ	の	1,730		
貸	倒	203		
投	資	46,560		
固	定	93,138		
資産合計		145,059		

(注)有形固定資産の減価償却累計額 112,570百万円

負債の部				
		科目	金額(百万円)	
流動負債	買掛	金	8,531	
	短期	借入金	24,989	
	未払	金	2,630	
	未払	法人税等	946	
	未払	消費税等	293	
	未払	費用	3,636	
	預り	金	170	
	賞与	引当金	980	
	その	他の	123	
	流	動	42,302	
固定負債	長期	借入金	12,348	
	長期	繰延税金負債	2,518	
	退職	給付引当金	1,302	
	役員	退職慰労引当金	202	
	固	定	16,371	
負債合計		58,674		
資本の部				
		科目	金額(百万円)	
法定準備金	資	本	12,460	
	資	本	9,701	
	利	益	3,115	
法	定	12,817		
剰余金	海	外	1	
	別	途	50,280	
	当	期	7,161	
	当	期	(1,456)	
剰	余	57,442		
評	価	4,743		
自	己	1,077		
資本合計		86,385		
負債・資本合計		145,059		

## 損益計算書 (平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

科目	金額(百万円)	
経常損益の部		
営業損益の部		
営業	収	84,026
売	上	84,026
営業	費	79,228
売	上	57,331
販	売	21,896
営業	利	4,797
営業外損益の部		
営業	外	1,316
受	取	754
そ	の	561
営業	外	1,798
支	払	549
そ	の	1,248
経	常	4,316
特別損益の部		
特	別	826
投	資	826
特	別	2,778
貸	倒	1,045
投	資	1,013
固	定	596
子	会	100
貸	倒	13
子	会	10
税	引	2,364
法	人	1,115
法	人	207
当	期	1,456
前	期	8,157
利	益	2,452
当	期	7,161

## 利益処分

科目	金額(円)
当期末処分利益	7,161,096,509
海外投資等損失準備金取崩額	611,730
別途積立金取崩額	10,000,000,000
合計	17,161,708,239
これを次のとおり処分いたします	
利益配当金(1株につき6円)	1,197,532,716
取締役賞与金	35,000,000
合計	1,232,532,716
次期繰越利益	15,929,175,523

(注)海外投資等損失準備金取崩額は  
租税特別措置法に基づくものであります。

## 自己株式の消却

期	消却株数(万株)	累計(万株)	消却金額(千円)	累計(千円)
89	500	1,900	1,950,185	6,156,045
88	800	1,400	2,357,941	4,205,860
87	300	600	949,714	1,847,919
86	300	300	898,205	898,205

## 連結貸借対照表 (平成14年3月31日現在)

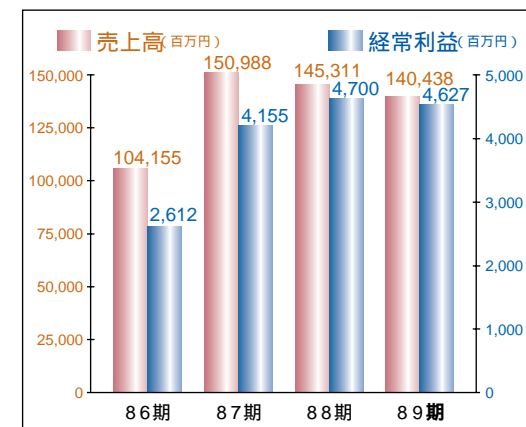
資産の部		金額(百万円)
科目		
流動資産	現金預金	6,851
	受取手形・売掛金	43,123
	棚卸資産	20,106
	繰延税金資産	960
	その他	2,810
流動資産計	73,850	
固定資産	有形固定資産	
	建物及び構築物	26,293
	機械装置及び運搬具	24,253
	その他	19,054
	有形固定資産計	69,600
資産	無形固定資産	2,484
	投資その他の資産	
	投資有価証券	32,549
	その他	10,706
	投資その他の資産計	43,255
固定資産計	115,339	
資産合計	189,189	

負債の部		金額(百万円)
科目		
流動負債	支払手形・買掛金	18,288
	短期借入金	42,029
	未払費用	4,429
	賞与引当金	1,342
	その他	8,720
流動負債計	74,808	
固定負債	長期借入金	16,295
	長期繰延税金負債	2,918
	その他	4,454
固定負債計	23,667	
負債合計	98,475	
少数株主持分	1,896	
資本の部		
資本	12,460	
本準備金	9,702	
連結剰余金	63,315	
その他有価証券評価差額金	5,244	
為替換算調整勘定	436	
自己株式	1,467	
資本合計	88,818	
負債・少数株主・資本合計	189,189	

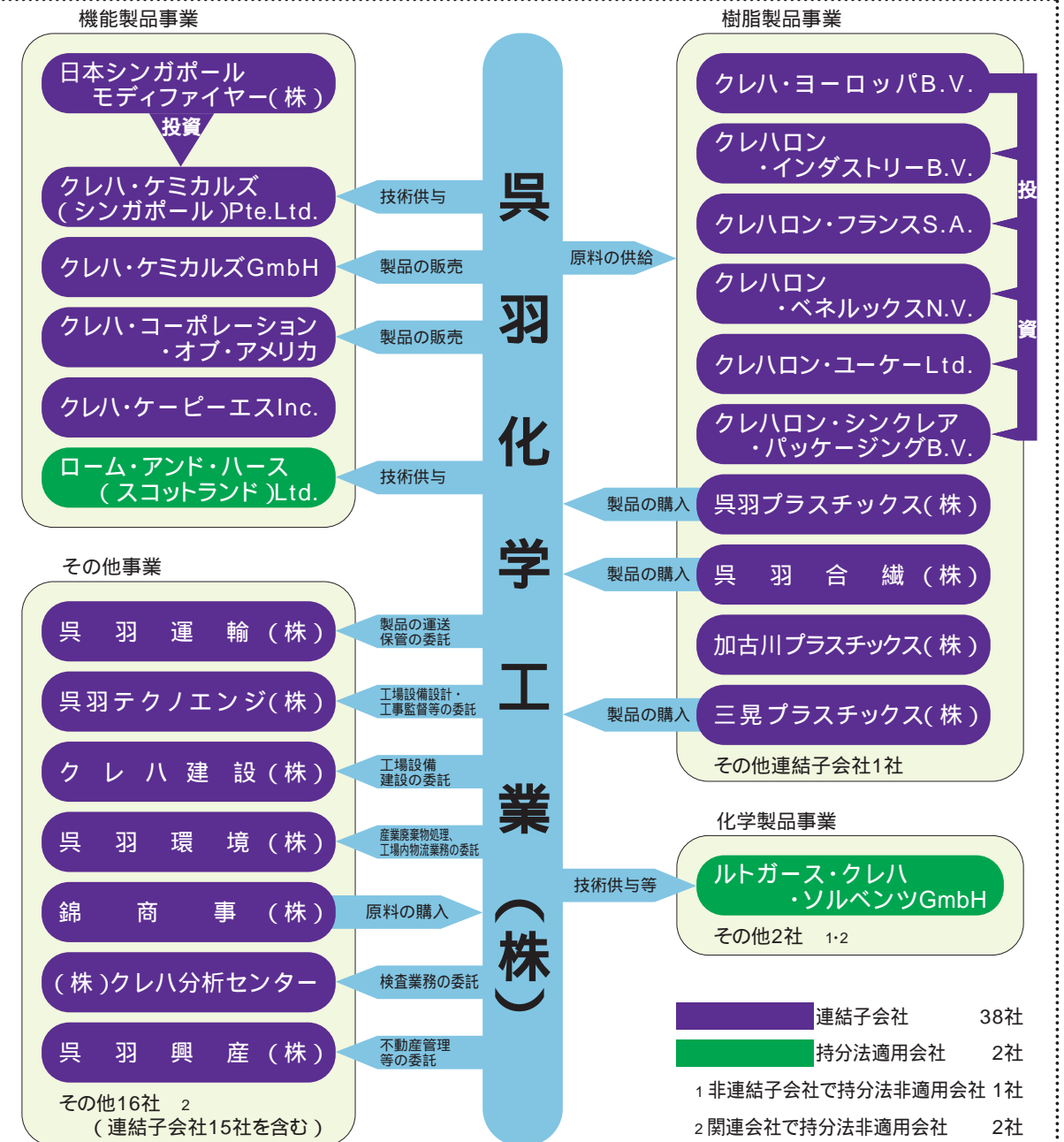
## 連結損益計算書 (平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

科目	金額(百万円)
売上高	140,438
売上原価	107,001
売上総利益	33,437
販売費及び一般管理費	27,147
営業利益	6,290
営業外収益	1,104
営業外費用	2,767
経常利益	4,627
特別利益	1,156
特別損失	3,066
税金等調整前当期純利益	2,717
法人税・住民税及び事業税	1,505
法人税等調整額(減算)	687
少数株主利益(減算)	136
当期純利益	2,035

## 連結売上高/連結経常利益の推移



## 企業集団の状況

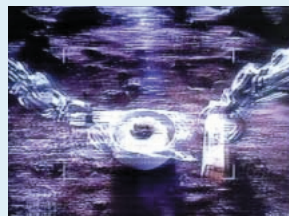


注) その他事業の錦商事(株)につきましては、親会社の機能・化学・樹脂製品の一部の販売も行っております。

## 「宇宙でクレハカット!？」 NEWクレラップに 新CM登場

今回のCMでは「NEWクレラップ」の最大の特徴である“切りやすさ”を今までにない表現方法で訴求しています。

火星という宇宙空間で、宇宙飛行士がロボットの腕を慎重に操作してラップを切るという実験を行う、たいへんユニークな内容です。一見切りにくそうなロボットの腕でも、親指マークを押さえてクルッと回すだけで、スパッと簡単に切ることができる「NEWクレラップ」独自の切りやすさを、わかりやすくコミカルに表現しています。荘厳な雰囲気の中での、操縦士、研究員メンバーの懸命さが“笑い”を誘います。ぜひご覧ください。



## 「キッチンさん」シリーズに保存容器3アイテムを追加



家庭用品シリーズ「キッチンさん」より新たに保存容器3アイテムが登場しました。電子レンジで加熱・調理ができる保存容器「レンジもできる保存容器」、ごはん1膳分を冷凍保存、そのまま電子レンジ加熱できる「ごはん一膳冷凍保存」、4分割の仕切によりひき肉やごはん、スープを小分けして冷凍保存し、使う分だけムダなく解凍できる「ひき肉小分け冷凍保存」です。

当社は、今後も「キッチンさん」シリーズを拡充し、お客様に愛される商品の開発・改良を行ってまいります。引き続きご愛顧の程お願い申し上げます。

## 静電気対策新商品を 半導体関連展示会で発表

### ・ESDシンポジウム

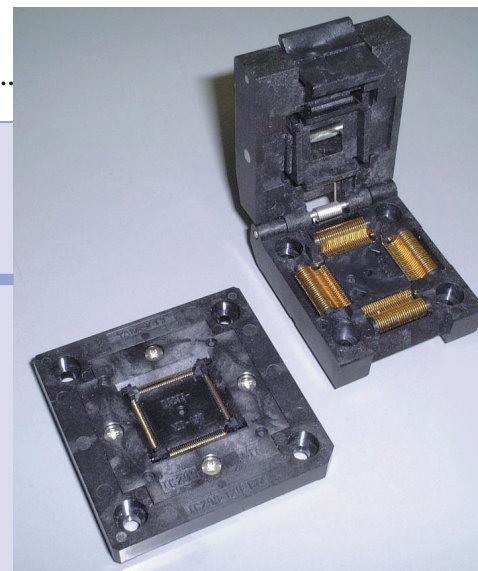
2001年9月9日から5日間、米国ポートランドにおいて、第23回ESDシンポジウムが行われました。今回は、米国ESD技術委員会にその革新的な内容が認められた、当社の特殊カーボンベースとした半導電性コンパウンド「クレファイン」の中核技術について発表しました。また、展示会場においては当社ESD関連商品を紹介し、世界中から集まった参加者に対して、呉羽のネームバリューを十分にアピールすることができました。

ESD...Electrostatic Discharge (静電気放電)

### ・Photomask Japan

2002年4月23日～25日の期間、パシフィコ横浜にてPhotomask Japan 2002 が開催され、制電樹脂「パイオン」の展示を行いました。「パイオン」の主用途はフォトマスクと呼ばれる半導体回路の設計図を搬送するケースであり、高い信頼性を得ている商材です。今回は、最先端デザインルール0.13umでも使用可能な低アウトガス新グレードYM490の紹介を行い、多くの反響を得ました。

「パイオン」応用例:ペリクルケース  
視認性とホコリを寄せ付けない制電性、内部のペリクル(防塵用超薄膜部材)に悪影響を及ぼさない低アウトガス性が求められています。



「クレファイン」応用例:ICテストソケット  
0.13umプロセスなどの適用により高集積・高速度・低消費電力が進むLSI/ICですが、現在、製造工程、検査工程においてわずかな静電気でも壊れてしまうことが問題になっています。呉羽独自のカーボンを均一に樹脂へ混練し、今までにない精度で(半)導電性をコントロールした「クレファイン」(樹脂・カーボン複合材料)がこれらLSI製造工程で、次々に採用されています。



会社の概要

商号 呉羽化学工業株式会社  
 本店 東京都中央区日本橋堀留町一丁目9番11号  
 設立 昭和19年6月21日  
 資本金 12,460,209,133円  
 ホームページ <http://www.kureha.co.jp/>

事業所

支店 大阪支店  
 営業所 名古屋営業所、福岡営業所、札幌営業所、  
 仙台営業所、いわき営業所(福島県いわき市)  
 工場 錦工場(福島県いわき市)  
 研究所 生物医学研究所(東京都新宿区)  
 錦総合研究所(福島県いわき市)  
 樹脂加工技術センター(茨城県新治郡)  
 食品研究所(茨城県新治郡)

取締役および監査役 (平成14年6月27日現在)

取締役社長 (代表取締役)	天 野 宏	取締役	甲 藤 卓 之
専務取締役 (代表取締役)	田 中 宏	取締役	岡 本 恒 夫
専務取締役 (代表取締役)	加 治 久 継	取締役	藤 井 雅 彦
常務取締役 (代表取締役)	國 分 可 和	取締役	鈴 木 直 哉
常務取締役 (代表取締役)	内 山 正 樹	取締役	萩 野 弘 二
常務取締役	鶴 泉 隆 治	監査役(常勤)	高 岡 龍 一
取締役	富 澤 藤 利	監査役(常勤)	藤 原 一 作
取締役	平 松 義 行	監査役	木 村 和 俊
取締役	舟 木 竹 知	監査役	漆 原 末 男

従業員の状況

区 分	従 業 員 数	前期末比増減	平 均 年 令	平均勤続年数
男 性	1,248名	19名減	43.8才	21.4年
女 性	229名	9名減	32.2才	10.5年
計または平均	1,477名	28名減	42.0才	19.7年

営業品目

<p>機能樹脂 PPS樹脂 MBS系耐衝撃強化剤 アクリル系耐衝撃強化剤 アクリル系加工助剤 ふっ化ビニリデン樹脂 塩化ビニリデンラテックス 制電樹脂 機能性コンパウンド 光学材料</p>	<p>炭素製品 炭素繊維 球状活性炭 特殊炭素材料</p>	機能製品
<p>合成樹脂 塩化ビニル樹脂 無機薬品 か性ソーダ 塩酸 液体塩素 次亜塩素酸ソーダ</p>	<p>医薬品 クレスチン クレメジン 動物用医薬品 コバルジン 農薬 ラブサイド DDVP</p>	化学製品
<p>有機薬品 モノクロルベンゼン パラジクロルベンゼン オルソジクロルベンゼン 2,6ジクロルトルエン</p>	<p>農材 メトコナゾール イブコナゾール 粒状培土 園芸培土</p>	
<p>食品包装材 塩化ビニリデンフィルム 塩化ビニリデンコンパウンド 熱収縮多層フィルム 非収縮多層フィルム 多層ボトル ハイバリアーラミネート基材</p>	<p>家庭用品 NEWクレラップ 流し台用水切りゴミ袋 掃除機用紙パック</p> <p>合成繊維 多層釣糸</p> <p>芝工事業 人工芝および敷設工事 天然芝生造成工事</p> <p>包装機械 自動充填結紮機</p>	樹脂製品

株式の状況

会社が発行する株式の総数 621,000,000株  
 発行済株式の総数 202,601,909株

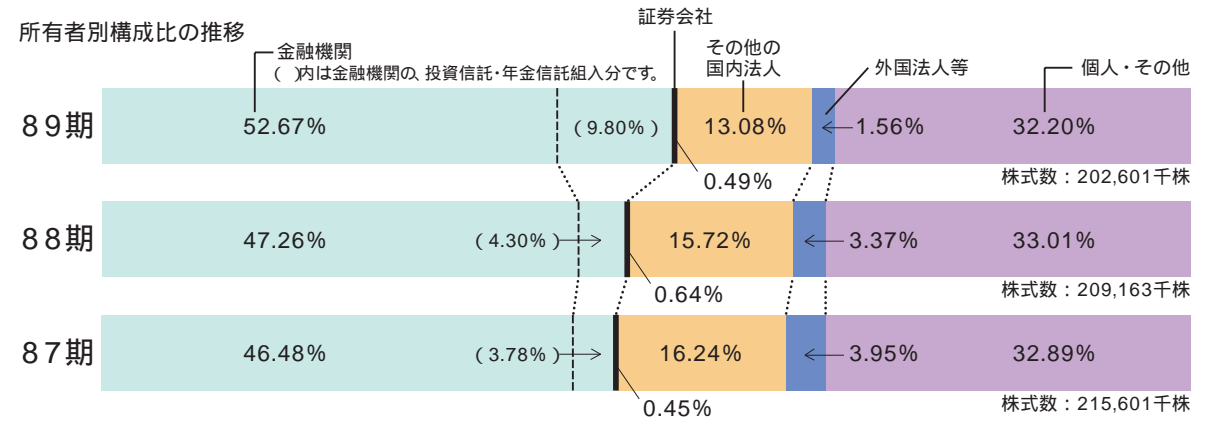
(注)会社が発行する株式の総数および発行済株式の総数は、  
 当期中に利益による自己株式の消却をしたことにより、前  
 期末に比べそれぞれ6,562千株減少いたしました。なお、  
 当該減少株式の数には、前期末以後平成13年5月20日ま  
 でに取得・消却された1,562千株が含まれております。

株 主 数 27,803名

大株主の状況

株主名	所有株式数(千株)	株式所有比率(%)
安田生命保険相互会社	13,746	6.78
東京海上火災保険株式会社	13,697	6.76
株式会社富士銀行	10,379	5.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,139	5.00
株式会社大和銀行	8,978	4.43
株式会社三井住友銀行	7,177	3.54
三共株式会社	5,830	2.87
株式会社あおぞら銀行	4,922	2.42
丸紅株式会社	4,462	2.20
安田火災海上保険株式会社	4,164	2.05

株式の所有者別状況



株価の推移

